

平成 27 年 9 月 3 日
青 森 県
東 北 電 力 株 式 会 社

監視評価会議合同会議におけるご質問への回答について

平成 27 年 6 月 15 日に開催された「平成 27 年度第 1 回 青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議合同会議」において委員からご質問いただいた件については、以下のとおりです。

記

1. ご質問内容

- (1) 以前、温排水の影響範囲は 500m 程度とのことだったが、これまでの実績等があれば、データを見せてほしい。
- (2) 取水口から取り込まれたプランクトン等の微生物は、放水口から放出されるまでの間にポンプ等によって影響を受けるのではないか。

2. 回答

- (1) これまでの青森県および東北電力による調査結果では、放水口から 600m 以内にある調査点の表層から 10m 以浅において、温排水の影響と見られる 2 度弱程度の水温上昇が認められたことがありました。その他の調査点においては温排水の影響によるものと見られる有意な水温の上昇は認められませんでした。
- (2) 発電所による取放水のプランクトン等への影響については、文献等により、数%程度の減耗が見られるが、周辺海域のプランクトンの存在量には影響は認められないことが報告されております。これまでの調査においても、温排水放水を開始した前後において、プランクトンの出現種等に大きな変化は認められておりません。

以 上

【参考】温排水調査における水温の調査位置図（平成 17 年度～26 年度）

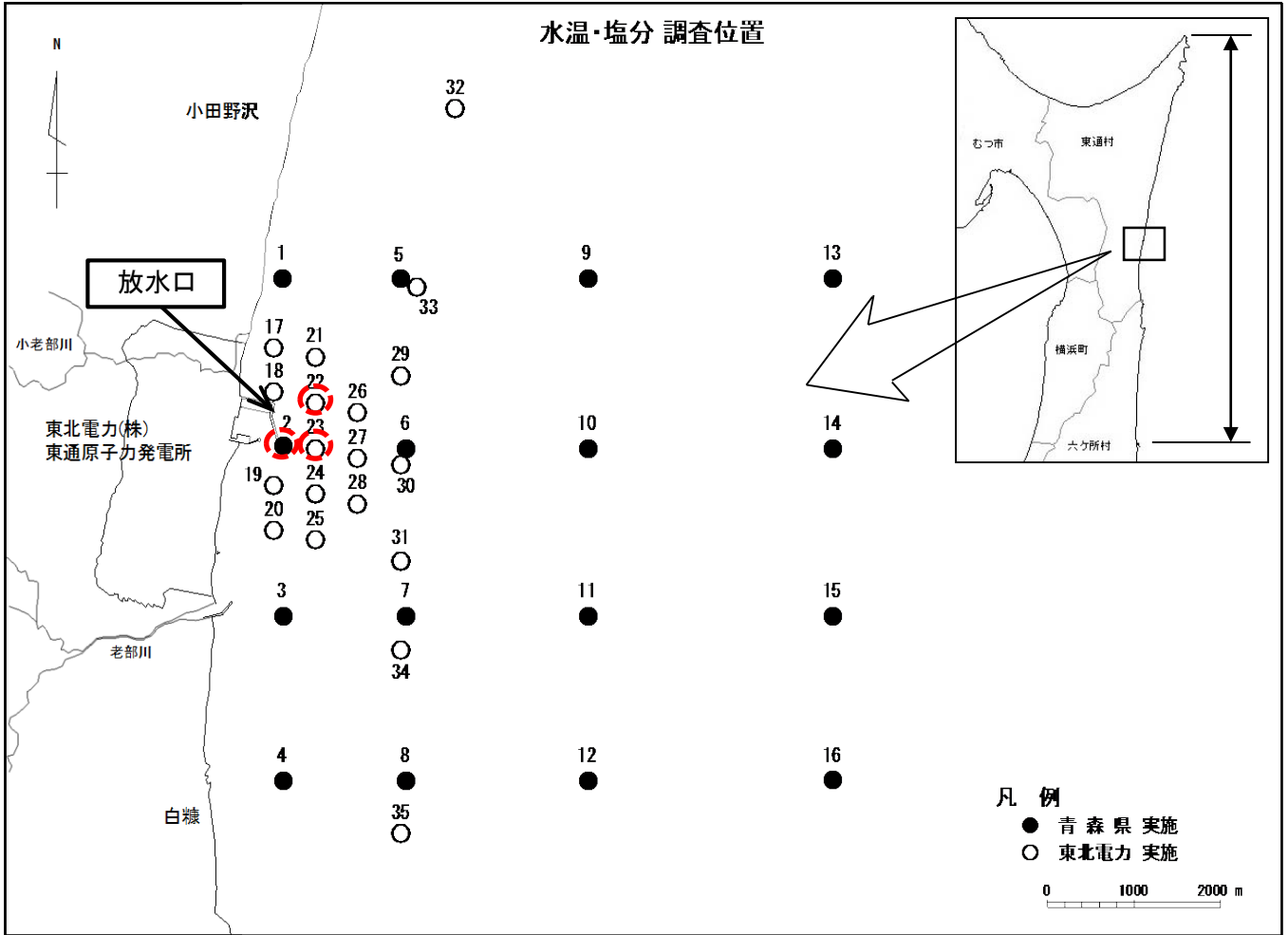


図 温排水調査における水温の調査位置図（平成17年度～26年度）

温排水の影響によるものと見られる水温上昇が認められた調査点を赤丸で囲んで表示しています。